

# 第3次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

---

温室効果ガス総排出量推計結果

2022年度（令和4年度）

環境部環境政策課

# 第3次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

## 1 計画の概要

計画期間	2021年度（令和3年度）～2025年度（令和7年度）
対象範囲	本市の行う全ての事務事業・本市の全ての施設
対象ガス	二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン（HFC-134a）
基準年度	2013年度（平成25年度）
中期目標	2025年度（令和7年度）までに基準年度と比較して13.7%削減する 基準年度 62,097t-CO <sub>2</sub> → 2025年度目標 53,614t-CO <sub>2</sub>
長期目標	2030年度（令和12年度）までに基準年度と比較して27.3%削減する 基準年度 62,097t-CO <sub>2</sub> → 2030年度目標 45,130t-CO <sub>2</sub>

## 2 計画の目的

本計画は、本市で実施する事務事業に関し、「温室効果ガス排出量の削減」及び「温室効果ガスの吸収作用の保全及び強化」に取り組むための計画です。本計画を推進することにより、本市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量を削減するとともに、市民・事業者の自主的かつ積極的な温室効果ガス排出削減のための行動を促すことを目的としています。

### 3-1 温室効果ガス排出量

2022年度（令和4年度）の本市の事務事業に伴い排出された温室効果ガスの排出量を表1に、詳細な排出項目別の活動量及び排出量の基準年度との比較を表2に示しました。2022年度（令和4年度）の総排出量は48,005t-CO<sub>2</sub>となり、中期目標値を下回りました。特に排出割合の大きい活動は、電気の使用が44.9%、一般廃棄物の焼却が33.2%、燃料の使用が20.2%となりました（表1）。総排出量を基準年度と比較すると14,092t-CO<sub>2</sub>減少（22.7%減）しました（表2）。

部門別排出量については、廃棄物部門で中期目標値を下回りました（表3）。

#### 主要な排出活動について

- 電気の使用による排出量は21,541t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度より5,992t-CO<sub>2</sub>減少（21.8%減）しました。
- 一般廃棄物の焼却による排出量は15,930t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度より6,490t-CO<sub>2</sub>減少（28.9%減）しました。
- 燃料の使用（ガソリン、灯油、軽油、A重油、液化石油ガス（LPG）、都市ガス）による排出量は9,707t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度より1,452t-CO<sub>2</sub>減少（13.0%減）しました。

表1 2022年度の温室効果ガス排出量

排出項目	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	構成比
燃料の使用	9,707	20.2%
電気の使用	21,541	44.9%
自動車の走行	14	0.0%
カーエアコンの使用	6	0.0%
一般廃棄物の焼却	15,930	33.2%
下水・し尿の処理	598	1.2%
農業集落排水の処理	209	0.4%
合計	48,005	100%

表2 排出項目別の活動量及び温室効果ガス排出量（基準年度比較）

排出項目		活動量			排出量(t-CO <sub>2</sub> )		CO <sub>2</sub> 増減率
		単位	基準年度 (2013年度)	令和4年度 (2022年度)	基準年度 (2013年度)	令和4年度 (2022年度)	
燃料の使用	ガソリン	L	221,064	203,618	512	473	-7.7%
	灯油	L	722,168	943,251	1,798	2,345	30.4%
	軽油	L	69,358	56,009	178	141	-20.8%
	A重油	L	1,495,911	1,020,964	4,069	2,771	-31.9%
	液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	623,233	540,909	3,869	3,228	-16.6%
	都市ガス	m <sup>3</sup>	340,190	345,059	733	749	2.2%
小計					11,159	9,707	-13.0%
電気の使用		kWh	51,949,604	50,850,940	27,533	21,541	-21.8%
自動車の走行		km	2,093,049	1,701,182	12	14	13.2%
カーエアコンの使用		台	499	444	6	6	6.2%
一般廃棄物の焼却	連続燃焼式	t	58,380	58,648	1,027	992	-3.4%
	准連続燃焼式	t	3,187	2,181	76	39	-48.4%
	廃プラスチック(活動量は内数)	t	7,696	5,378	21,317	14,898	-30.1%
小計					22,420	15,930	-28.9%
下水・し尿の処理	下水の処理(単独公共下水道)	m <sup>3</sup>	7,268,308	7,434,072	494	518	4.9%
	し尿の処理(し尿処理施設)	m <sup>3</sup>	61,777	65,354	23	80	248.7%
小計					517	598	15.7%
農業集落排水の処理		人	14,485	9,694	450	209	-53.5%
合計					62,097	48,005	-22.7%

※端数処理の都合により、数値が一致しない場合があります。

表3 部門別温室効果ガス排出量

		基準年度 2013(H25)	2022(R4)	中期目標 2025(R7)	長期目標 2030(R12)
総排出量		62,097	48,005	53,614	45,130
部門別 内訳	業務その他部門	38,008	30,641	30,406	22,805
	運輸部門	702	627	604	505
	廃棄物部門	23,387	16,737	22,604	21,820

### 3-2 基準年度以降の総排出量推移

基準年度から2022年度までの温室効果ガス総排出量の推移は、図1に示すとおりです。年度によって排出量に増減は見られるものの基準年度以降は全体的に減少傾向となっています。

2022年度の温室効果ガス総排出量は、中期目標値（53,614t-CO<sub>2</sub>）を5,609t-CO<sub>2</sub>下回り、基準年度比で22.7%の削減を達成しました。

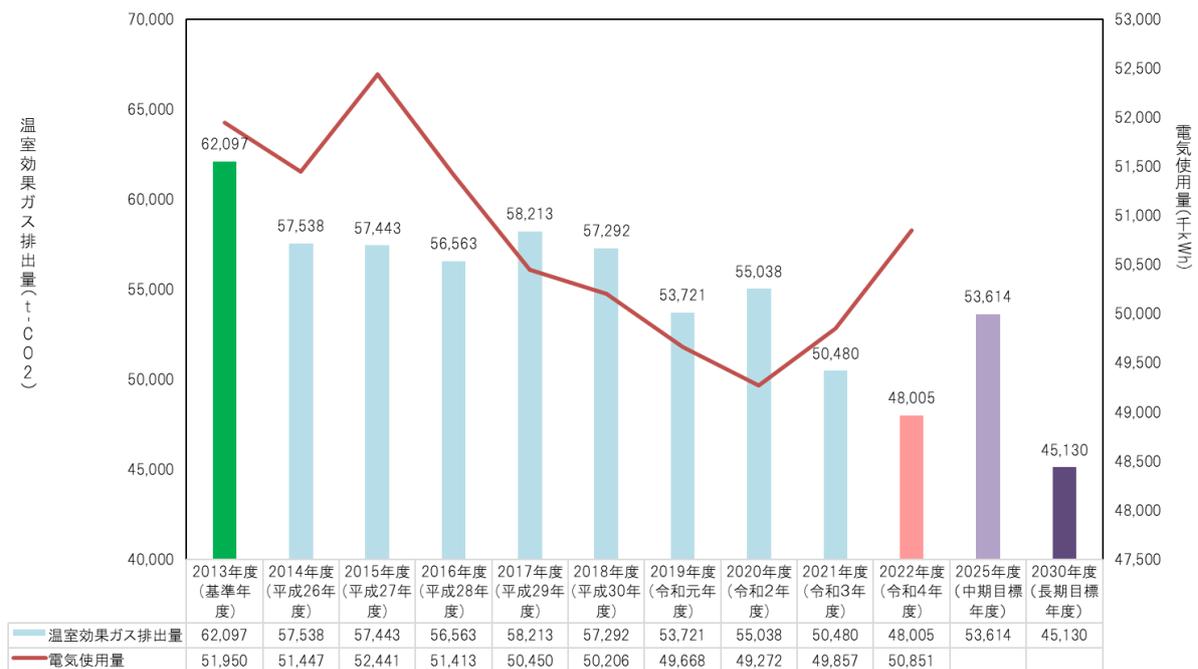


図1 基準年度以降の総排出量の推移

## **4 課題・対策**

### **①燃料使用量の削減**

#### **《課題》**

- ・施設管理における燃料使用量の削減
- ・公用車の燃料使用量の削減

#### **《対策》**

- ・燃料使用設備の効率的な運転管理
- ・省資源・省エネルギー型の機械設備の導入
- ・職員への公用車の使用時におけるエコドライブの普及
- ・カーエアコンの効率的利用と走行ルートの合理化
- ・公用車への次世代自動車の導入促進

### **②電気使用量の削減**

#### **《課題》**

- ・施設管理における電気使用量の削減

#### **《対策》**

- ・公共施設への太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの導入
- ・LED化等の省エネ改修の促進
- ・職員の節電・省エネに対する理解と実行力の強化
- ・クール（ウォーム）ビズの推進

### **③一般廃棄物及び一般廃棄物中の廃プラスチックの削減**

#### **《課題》**

- ・ごみ焼却量の減少
- ・プラスチックごみの減量化
- ・し尿・浄化槽汚泥の焼却量の減少

#### **《対策》**

- ・資源保管庫の活用を市民へ周知
- ・ごみの分別回収と市民への周知
- ・出前講座等による市民の分別意識の醸成
- ・マイバッグ運動の推進
- ・家庭用生ごみ処理機の普及促進
- ・し尿処理汚泥の肥料化